



第二次総合計画での 三つの整合性は

大野 則男 議員

基本構想・計画・実施計画 の整合性は重要

企画政策部長



▲永和駅あかすの踏切

永和出張所の廃止に伴う代案について、進捗を尋ねる。

市民協働部長 廃止に向けた代案で、郵便局を含め検討してきた。協議が整ったことで8月22日に正式に協議を申し込み、業務委託の予定だ。

第二次総合計画での基本計画、基本構想、実施計画の三つの整合性がとれていないといけないが、第一次での、本部田の道路改良工事では、守

られなかったと思う。第二次計画では、整合性をとるのが。

企画政策部長 基本計画、基本構想、実施計画の整合性を図ることは重要と考える。計画策定では市民向けのワークショップ、高校生を対象としたワークショップ、市内7カ所で意見収集用パネルの設置、32名の課長補佐級で組織するワーキングチーム等で、市の最上位計画である総合計

画策定に、全庁をあげて取り組んできた。主要な事業の実施計画への計上を今まで以上に徹底する。

企業誘致も様々な問題がある中、設計・不動産鑑定をしたが、迂回路断念。多くの議員は決して無駄じゃないと言うが、今後様々な問題を誰がどの部署で解決していくのか。

産業建設部長 調整池、緑地帯は、草刈り等の維持管理費を見込んでいる。騒音の苦情は環境課、道路は土木課と、苦情の内容で変わってくる。

永和駅あかすの踏み切りの解消策は。防災道路の進捗も含め尋ねる。

産業建設部長 日光川右岸堤防防災道路の整備が進められており、踏み切りでの交通量を減少させる効果が期待できる。

将来に課題を残す
保育事業計画

公立保育園でのあり方についての子ども・子育て会議の内容は。また、住民説明会、保護者の様々な提起にどう答えるのか。保育の方向を決めるにあたって、行革、市公共施設等総合管理計画での削減で保育を考えていいものか。

健康福祉部長 子ども・子育て会議では、各委員より合同保育期間やスケジュールの見直し、児童や保護者の不安解消ができるような改善措置の検討が必要との意見があり、不安を少しでも解消できるようなスケジュール等を協議いただく。

市長 公立私立を問わず、園児の保育環境を整えることが重要だ。指定管理を導入したとしても、適正でない判断すれば、譲渡する考えはない。